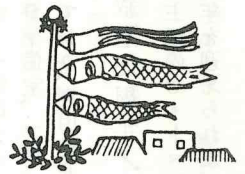


仙台司教区 教区事務所だより



(第 31 号)
昭和55年5月1日

マスメディアの役割と

家庭の使命

広報の日 〓 5月11日 〓

第14回を迎える本年度世界広報の日は、日本では5月11日(全世界では5月18日)に実施されることになり、テーマは「マスメディアの役割と家庭の使命」ときまりました。

マスメディアとは、私達の生活に最も身近な存在となったテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等を指します。この大衆伝達を目的としたマスメディアは、福音宣教にも大きな役割を果たします。パウロ六世は、使徒的勧告「福音宣教」で次のように述べています。

「現代の特徴は、一般にマスメディアとも言われているソーシャル・コミュニケーションの発達であります。福音の知らせや、カテケシスならびに信仰を深める方法も、マスメディアを無視できません。それによって、神のみ言葉は限りなく広範囲におよび、数百万の人々の耳に達します。人類の技術が日ごとに発展していくうちに、こうした有力な手段を教会が使

わなければ、神のみに申し訳ない次第です。この手段によって、教会は「屋上」から神のメッセージを表明し、現代的な「説教台」のおかげで、大群衆に語り得るのであります。」

今年の「広報の日」のテーマは、マスメディアの役割と家庭の使命です。私達キリスト者の家庭の中にマスメディアはどのように影響しているでしょうか。広報委員会が東京都内約70世帯の信徒の家庭を対象としたアンケートによると次のとおりです。

親も子も、マスメディアの影響を受けている(親87%、子97%)。子どもはテレビコマシャルの影響を受けている(70%)。家庭ではテレビ、新聞が最もよく利用されている(85%)。広報の日を知っている人がかなりいる(48%)。

では、このマスメディアを私達は、どのように利用しているのでしょうか。何の選択も

なしに見聞きし、知らない間に、私達の家庭生活、特に子供達の心をむしばんではいないでしょうか。文明の利器の本来の役割を、もう一度見なおしたいものです。

そして、最も忘れてならないことは、福音宣教の真のマスメディアはイエズス・キリスト御自身であり、私達信徒一人一人が、生活のあかしによってキリストを示すことです。

ツーゲル師 管区長に再任

ベトレヘム会管区長ツーゲル師は、昭和55年3月31日をもって管区長の任期を満了したが、次期管区長選挙で再任され、もう一期管区長を務めることになった。

人事異動 ()内は旧任地

◎グアダルベ会

- 喜多方教会助任 エレラ神父(白河)
- 白河教会助任 ロベス神父(在白河)
- 会津若松助任 ニボン神父 (日本語学校卒業)

◎ケベック宣教会

- 横浜溝の口教会へ転出 ベランジェ神父 (白石主任)

◎ドミニコ会

- 東京南平台教会へ転出 トラハン神父 (北仙台主任)
- 北仙台教会主任 プテット神父(東京)
- ◎白石教会主任 首藤正義神父 (元寺小路助任)

仙台教区司祭評議会



1 今後の教区を展望

仙台教区司祭評議会の定例総会は、3月10日午前10時半から仙台・元寺小路教会信徒館で催され、仙台教区の今後の展望など、次の三点を審議した。

一、仙台教区における今後の展望について

今後仙台教区では、さまざまな理由で、司祭不在の教会が出る可能性がある。この現象に、どう対処すべきか。この提案に対し、教区内の司祭配置を全教区的見致から検討すべきであり、こうした諸問題への対策の一步として、研究グループを発足させることに決定した。

* 研究グループメンバーへ吉田昌民、佐藤守也、ヨハネス・ローネル各神父)

二、(次回の評議会までに検討内容を報告する)

最近、司祭の間に、要理教育の方法について話し合われている。この問題は、時代に即応しながらも、普遍的な事を伝えねばならず、研究を要する。しかし教区レベルの司祭の研究会を考えるまではいかず、各司祭に、それぞれ個人で研究することを要望した。

三、教区レベルにおける昭和55年度の司牧年間目標の内容について

本年度の司牧目標の内容を、「聖書」とした。この事は、更に司牧評議会でも話し

合われる予定である。(司牧評議会については、次号で報告の予定)

なお、司祭評議会終了後、仙台教区司祭大会準備委員会が開かれ、大会のテーマは「聖書による信仰教育」と決定された。

祝* 新体育館落成

＜仙台白百合学園＞



仙台白百合学園(理事長・戸刘美奈子)では、かねてから建設中であつた講堂兼体育館が竣工の運びとなり、去る4月12日落成式が行われた。

はじめに佐藤司教による建物の祝別が行われ、子女の教育のため建てられたこの体育館に主の祝福と平安が注がれるよう祈った。

続いて、学校側からの挨拶、感謝状贈呈、宮城県知事、仙台司教、県私立中等学校連盟会長各位の祝辞が続き、この慶事を祝った。落成式には、来賓、白百合学園児童生徒、教職員約千六百名が参列し落成の喜びを共にした。

新体育館は、地上二階地下一階の鉄骨コンクリート造り、総面積四四五、八㎡である。

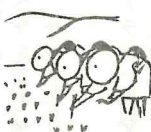
地階は小ホール、ステージ、更衣室、シャワー室、ボイラー室、一階は大ホール、ステージ、保健室、体育準備室、二階は音楽室、ギャラリイとなつており、利用範囲は大きい。

＊トマ師 叙階25周年

岩手県久慈教会主任のO・トマ師は、去る4月3日叙階25周年を迎えられた。4月3日

田植えと、ともに

寿庵祭



農民が田植え、畑の仕事に取り掛かるこの頃、陸奥の人々が最も尊敬している後藤寿庵を崇敬する寿庵祭が例年のように行われる。今年も、次のような日程が予定され、当日は、寿庵苑において、後藤寿庵、及び東北キリシタンに関する展示会も行われるので期待される。(詳細は水沢カトリック教会へ)

日時 55年5月25日(日) 午前9時30分
福原公民館より任意行列
午前10時 式典

- 田畑の祝別 ● 来賓の祝辞
- ミサ聖祭 ● 親睦会

YBU放送を視聴しよう

△テレビV青森放送(1ch)朝9時30分(土)
テレビ岩手(35ch)朝9時30分(土)夜24時(日)
宮城テレビ(34ch)朝8時25分(土)朝6時半(日)
福島中央テレビ(33ch)朝6時半(土)

△ラジオV曾野綾子の「私の中の聖書」

青森放送7時50分(日) 岩手放送6時20分(土)
東北放送6時40分(土) ラジオ福島7時45分(日)

(いずれも朝の番組です。)

アルクラコーラス 25周年

記念コンサート開催 (水沢)

アルクラコーラスが発足したのは、今から25年前。当時は、ほとんどが信者だったので聖歌隊という形を取っていた。今は、宗教、信者ということにかかわらず、同じ音楽を愛する者同志が集まって、このコーラスの輪を広げている。

練習は、毎週木曜日夜7時半から9時まで水沢カトリック教会でローネル神父様の指導の下に行われている。



司祭の老齢化、召命の減少、信徒養成の必要等が叫ばれている。今、仙台司教区も、ふんどしを締めなおして将来の対策に本腰を入れないと、仙台司教区に属する司祭の総数は85名。内、邦人司祭33名。宣教修道会司祭52名。その平均年齢は53歳弱である。神学校修業年数は7年であるが、現在神学校在学中の神学生3名が、皆叙階されたとしても、宣教修道会からの若い司祭の増員を望めない状況の下で、死亡司祭は一人もいなかったとするなら、7年後の司教区の司祭は88名となるが、その平均年齢

本年度教区教勢を見て
どうする7年後？

昭和54年12月31日現在の統計によると、仙台司教区に属する司祭の総数は85名。内、邦人司祭33名。宣教修道会司祭52名。その平均年齢は53歳弱である。神学校修業年数は7年であるが、現在神学校在学中の神学生3名が、皆叙階されたとしても、宣教修道会からの若い司祭の増員を望めない状況の下で、死亡司祭は一人もいなかったとするなら、7年後の司教区の司祭は88名となるが、その平均年齢

「みんな本当に音楽が好きで、歌いたいという気持ちが集まっています。だから私も音楽を皆さんの生活の糧にしてあげたいのです。」とローネル師。その指導は、額に汗を出しながら、悪い所はピンピン指摘し、何度くり返させ、かなり手きびしい。だからこそ、「今度こそうまく歌おう、きれいに調和させよう」と、各々の気持ちと同じ目標に向かって一つになる。現在会員は三十数名。4月26日(土)、大光デパートで晴れの25周年記念コンサートを開き、好評をくしたのも、会員にとって大きなげましとなった。

は59歳を越える。

これを年齢構成の面から調べてみると、現在の高年齢層の内、70歳を越えるもの7名、60歳台のもの19名であるが、7年後には80歳台3名、70歳台16名、60歳台のもの25名ということになり、司祭総数の半分は60歳以上の司祭で占めることになる。

現在58の小教区を擁し、大概の小教区には幼稚園・保育園が付属しており、近い将来、一人の司祭が付属幼稚園付小教区を二つ持たなければならぬ状況が来るのが目に見えている。

召命の増大を図ると共に、事業責任者の養成、小教区の統廃合、小教区制度を越えた宣教司牧態勢の確立、信徒使徒職の涵養、信徒に委ね得る役職の委譲等々の対策を真剣に検討しなければならぬ。

※ ※ ※ ※

あなたの助けを

待っている (仙台・正・平・協)



○ ペトナム難民の方々新潟へ
去る4月14日、タイの難民キャンプから、26名の方々が渡来。新潟教区、長岡地区の信徒使徒協議会が彼らの受け入れを決定し、フランシスコ会の海の家を解放し、お世話しています。四月末には、80名位になるということで、長岡地区の信徒、司祭方が一つになってこの難民問題に取り組んでいます。

現在最も必要とするものは、二段ベッドと食料品です。援助金の協力も勿論歓迎します。仙台カトリック正義と平和協議会は、微力ながら、仙台から、何らかの援助をすることに決定しました。

各教会の御協力を切にお願い致します。詳細は、カトリック司教館、笹気神父まで。

○ ファリピン政治犯を助けよう

貧しい人々の生活を改善するため組織化された活動に参加した人々が、フィリピンでは多数政治犯として逮捕されています。(司祭含む) 彼らは生計のため聖句カード(英文)やペンダントを収容所で作っています。仙台正平協では、この二種類の販売を多くの方々に呼びかけ、その売上金をフィリピンに送っています。次のものを教区事務所のSr小川が取り扱っておりますので、御協力下さい。

カード 一枚 150円、ペンダント 600円

天理教本部の視察に参加して

ゴンザレス神父

二月十二日から十四日まで、宮城県宗教法人連絡協議会の天理教本部への視察旅行が行われることになり、他の宗教本部の訪問は日本理解の一助になるものと御招待をいただき、喜んで参加させていただきました。

参加者は、

芦名俊清(曹洞宗)、上田力也(神社庁) 佐藤千敬(カトリック)、清野俊道(仏単連) ゴンザレス(カトリック)、菅原道好、長尾勝一(天理教)、伏見進、斎藤陽子(事務局)の方々でした。

今回の訪問は、私にとって非常に有意義なものであり、いろいろと感じたことは沢山ありましたが、特に印象の深かったことは、神道や仏教の教えとは異なり「親神は、この世の元初まりに、人間、世界を造られたばかりでなく、生命を与え、絶え間なく守護くださる実の神であります。ところが人間は、本真実を知らず、自分一人の力で生きているように思い、：」という教えの内容と、信徒の方々が熱心な信仰によって、町や建物等は本当に塵一つない清潔さであり、人々に非常に親切であるという事などででした。しかし反面、全世界にひろまっている教会であるとの事ですが、祈り、歌からそのしきたりは日本の古い形式に従っており、そのままの形では、全世界にひろま

ることは難しいだろうということです。

即ち、外国の天理教の信者にも、本部と同じに、きめられたハッピを着て、日本語での祈りの形やことばをそのままで行わせようとするなどです。外国のみでなく現実に日本の国内でもこのままの形では現在以上に発展して行くことは難しいだろうと思います。

これらから、逆にカトリック教会が現在まで行ってきた祈り、形、ことばの在り方などについて、同様な意味で深い反省が必要であるように考えさせられました。

キリストの福音がよりよく人々に伝えられるためには、日本の現在の社会の形態に、祈りや組織と信仰の表現等がよく合致するものでなければならぬということです。

又、今回の訪問のコースの中で、特に深い感動を覚えたのは、飛鳥路の史跡めぐりで、日本のすぐれた数々の古い文化にふれることが出来たことでした。

私を一行の中に加えられて、この意義ある視察旅行に参加させて下さった宮城県宗教法人連絡協議会の皆さまに深く感謝しています。

(会津若松教会主任)



パチカン放送番組予定表(5月分)

日	日	日	火	日	木	日	金	日	土
				1	法王のことば V・N	2	朗読 V・N	3	音楽 V・N
4	聖書のしおり V・N	6	スタジオII ローマ案内	8	現代で生きる V・N	9	リスナーズ 広場	10	V・N
11	聖書のしおり お手紙紹介	13	スタジオII ローマ案内	15	パチカンへの 招待 V・N	16	世界の どこかで	17	音楽 V・N
18	聖書のしおり V・N	20	スタジオII ローマ案内	22	法王のことば V・N	23	希望の人 V・N	24	V・N
25	聖歌のしらべ お手紙紹介	27	スタジオII ローマ案内	29	話題を 追って	30	朗読 V・N	31	リスナーズ 広場

V・N=パチカン ニュースの略

「パチカン放送」を
お聞き下さい

時間 6時50分〜7時5分
11830 KHz (25mb)
19時30分〜19時45分
21500 KHz (13mb)

上
テレフォン
紙
サービス



教会維持について

(三)

十分の一の捧げ物のおきての根拠

(1) 神を恐れることを学ぶ

全収入の十分の一を必ず取り分けて、神の命じるように用いると、どうして神を恐れることを学ぶことになるのでしょうか。

結論から先に言うなら、私達のすべてを支え、導き、守り、生かして下さるのは、創造主なる神であるとの信仰を、常に目に見えるものとして現わす。つまり十分の一のおきてを守ることから、神への畏敬を実際に行うこと、それが、神を恐れることを学ぶことなのです。

神は、私達に御自分の「命の息」(創世記二章七節)を与えて、生きるものとされたばかりではなく、生きるための食物を与えて、養って下さるのです(創一一二九)。そのことを認め、感謝の気持ちを現わすために、神の命令に聞き従うことが、神を恐れることになるのです。

「恐れる」とは、罰されるのではないかとおびえて恐怖するという意味ではなく、神からの大きな恵み故に、畏れ敬うという意味です。「学ぶ」とは、実際に体験し、行動すること

です。私達は、神のありがたさを頭では知っていても、神の恵みに行動で答えることは少ないのです。できるだけ行いで現わすことを「学ぶ」と言っています。

今でもユダヤ人は、神が与えてくれるからこそ、十分の九の収入がある。十分の一は、本来、神の取り分であり、神から一時預っていると考えて、全収入の十分の一は、必ず会堂(キリスト教でいう教会)に納めるのです。このおきては、キリスト教でも、同じように守られています。それは、日本におけるプロテスタントの教会を見ればわかります。

ところが、日本のカトリックは、どうでしょう。百分の一さえ守られていない有り様です。

その原因は、日本へのカトリック再宣教の際、日本の信徒数の少なさのためもあるでしょうが、それよりも、日本教会再建の熱意故に、外国からの援助で何もかもやってしまい、教会の形だけを作ってしまったこと。中身

(つまり、信徒の自覚による教会維持の心)が十分でないまま、外側だけを形作ってしまったことが、信徒の教会維持への無関心を生み出してしまったとは言えないでしょうか。それはまた、宣教師たちが、日本の信徒を非常に大切に扱ったということでもあり、非難するわけにはいきません。

現在の信徒である私達が、先人の宣教師達の心を汲んで、これからは、教会自立のために、真剣な努力を続けなければならないのです。

(高田徳明神父)

良書案内

『母と子のための
イエスさまのたとえ話』



全国教会婦人会連合編 七〇〇円

母親の信仰を子ども達にわかりやすく伝えるために自分達のことばで語る聖書物語。

『現代っ子の信仰教育』

京都カトリック教理センター発行

各学年別 一冊七八〇円

グリーンベイプランに基づき、教会学校教案集家庭、教会学校が一緒になって、子供の信仰の育成を旨とした学年別カリキュラム。

『ごらんよ空の鳥』

藤田文子著 一四五〇円

子供の信仰の芽を大切に成長させるために著者の体験を盛り込んだ実践の書。

月刊雑誌『教えの手帖』

教会学校リーダーと家庭のために

一部200円 一年二千四百円

子供の信仰教育について、教会学校のリーダーがその体験を分かち合う東京教区発行の月刊雑誌で、わかりやすく、家庭向きである。

ミニ情報



◎昭和55年度 聖書のつどい

(聖ドミニコ会)

「みことば」を共に学ぼう!!

皆様春の息吹と聖主のご復活の二重の喜びの中で、よき日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年度に続いて今年も聖書のつどいを左記のように計画いたしますので、ご案内申し上げます。

「みことばはあらわれて、人を照らし、素朴な人々に悟りを与える。」詩編119:130

テーマ「キリストの教えたたとえ話」

日時 毎月第三日曜日午後二時～四時

きょうどう きがん

ふじのその 小2 佐藤まり子

わたしたちは、日ようび、石岡先生のととに、きょうどうきがんをします。

このおいのりは、とても、ききめがあるとおもいます。中学生の しっちゃん は、きょうどうきがんをする前は、とても朝ねぼろでした。マザーが、しっちゃんにみんなのおいのりをたのみなさいとすすめました。

ある日曜日、しっちゃんは、神さま、朝、みんなといっしょにおきることがで

場所 聖ドミニコ女子修道院

角五郎2-14 tel 221-6337

連絡 聖書のつどい係 Sr 大沼

講師 聖ドミニコ女子修道会 Sr 中村

持参品 聖書(会費は不要です。)

●一年のスケジュール

5月18日 6月15日 7月20日

9月21日 10月19日 11月16日

12月21日 1月18日 2月15日 3月15日

◎公開・キリシタン美術と

仙台展 仙台博物館V

仙台市博物館では、開館20周年を記念して「キリシタン美術と仙台展」を行います。キリスト教と仙台との関わりは、伊達政宗が、慶長遣欧使節として支倉常長を、ローマに派遣した事など特筆すべき点が多いのです。

きがないので、みんなといっしょにおきることができるとおもいます。ききめのあるおいのりを、きょうどうきがんをします。

わたしたちは、こころから主よ、わたしたちの祈りをききいれてくださいと祈りました。

それからしっちゃんは朝ねぼろをします。

わたしは、きょうどうきがんがだいすきです。

きょうどうきがんはききめのあるおいのりです。

本展覧会は、仙台領内に関連したキリスト教美術、南蛮美術、歴史資料を一堂に集めて公開するものです。

期日 昭和55年4月24日(木)～5月25日(日)

場所 仙台博物館(午前9時～午後4時半)

休館日 5月6・12・19日

料金 一般・大学生400円 高校生300円

小中学生300円(割引券もあります)

◎第五回名作映画祭 仙台V

*ジーザス・クライストII スーパースター

*ブラザーサンシスタームービー

全世界の若者達を感動させたこの二つの名画が次の日程で同時上映されます。御期待下さい。

●日時 5月18日(日)

●場所 白鳥ビル8階ホール

●料金 前売600円(当日800円)

●前売券は、YBU、仙台市内プレイガイドで発売中。

ブラザー	ジーザス
① 11:00 ～13:05	① 13:15 ～15:01
② 15:15 ～17:20	② 17:30 ～19:16

【編集後記】

◎さわやかな五月と共に聖母月。さわやかな風と共に3月末より教区事務所に高田明子さんが新たに勤務しています。青森・田名部の幼稚園事務のベテランでした。よろしく、

仙台司教区事務所だより31号

昭和五十五年五月一日発行

発行所 仙台司教区事務所

〒980 仙台市本町一丁目2番12号

TEL 0222 22 7371